

第 22 回(平成 28 年度)定時総会報告

第 22 回定時総会 安次峰暁会長挨拶

こんにちは、日頃会員の皆様には多大なご支援とご協力を賜りまして誠に有難うございます。本日は大変お忙しいなかを「東久留米稲門会第 22 回定時総会」にご出席くださいまして有難たく御礼申し上げます。また、ご来賓として早稲田大学から河口俊二地域担当副部長様、そして東久留米三田会様、近隣の稲門会様の方々もご臨席賜っております。

熊本地震の被害は日を追って多くなっております。大変心配な状況になっております。早い終息をお祈りいたします。

早稲田大学においては「WASEDA VISION 150」が策定されてから大学ランキングなどあらゆる面で良い結果が出ていると聞いております。また、東京オリンピックを見据えての「記念会堂」の改築工事が始まったことで、ちょうど今、寄付の依頼がきております。寄付については総会資料の中に同封されている振込み用紙に本人の名前と通信欄に東久留米稲門会と記入して頂ければ本人の実績と、東久留米稲門会との両方の実績にカウントされると聞いております。是非ご利用してください。

それから昨年、「ホームページ」をリニューアル致しました。これにつきましては、費用をかけないで「ホームページ」は作成できる筈だと会員の方から批判も受けました。永年にわたり、松崎先輩が一人で守ってこられたたくさんの資料をなんとか少しでも早く引き継がなければ申し訳ないという焦りもありました。役員会で何年か前から議論の対象になっておりまして、二度ほど担当できそうな人を選び出しトライしてもらいましたが二度とも断念した経緯がありました。又、業者に頼むと少なく見積もっても百数十万円はするということで、「ホームページ」は当分無理だろうと諦めておりました。しばらくして、昨年、たまたま 40 万円ほどでリニューアルできるキャンペーンがあるという情報が入りました。財源については、校友会から支給されている組織強化費を当てることで解決できるということになり、時間ぎりぎりです。昨年の総会に諮ったわけでありまして。そういうことで何とかリニューアルすることができましたが、まだこれから文字の修正およびメンテナンス等解決をはかっていかなければならない課題がたくさんありますが、時間をかけて取り組んでいきたいと考えております。ご理解くださいますよう宜しくお願い申し上げます。又、ホームページ等ご協力できる方がおられましたら是非力を貸して下さいようお願い申し上げます。

それから、昨年会計担当者が清水正弘会計に代わりました。これまで伊東さんが永い間、会計を担当して下さいました。本当にご苦労様でした。これを機会に会計監査を担当していた東海さんがこのままでは会計担当者が余分な苦勞をするということで、今回、会計係の為のマニュアルとして「会計処理規則」を作ってくれました。今回の決算処理はそれを利用して作成しております。その結果を検証して再度、役員会で検討したいと思っております。

部会活動について、今年中にいくつか、会員の皆様の健康維持に役立つような部会を立ち上げられるようひとつはテスト中でその他検討しているところであります。長くなりましたが、皆様方のますますのご健勝をお祈り申し上げまして挨拶とさせていただきます。



安次峰暁 東久留米稲門会会長

＜第1部＞定時総会

平成28年4月17日(日)午後2時より成美教育文化会館で定時総会、文化講演会及び懇親会が開催された。参加者は、定時総会及び懇親会で会員55名、来賓12名合計67名、文化講演会は一般参加者を含め約80名であった。

定時総会は、別処副会長の司会で開会、はじめに熊本地震で亡くなった方を含め、物故者への黙祷で開始された。

安次峰会長より、来賓の紹介の後、WASEDA VISION 150 策定後の大学の状況および記念会堂改築についての寄付依頼の紹介、当会ホームページリニューアルの経緯と今後の対応、昨年の当会会計担当者交代、それに伴う会計規則の制定及びその検証と改正、健康維持に役立つような新しい部会の立ち上げを検討テスト中との内容の挨拶があった。



早稲田大学 河口俊二 地域担当副部長

来賓を代表して早稲田大学河口地域担当副部長より、祝辞と挨拶で①WASEDA VISION 150 について、1万人の留学と9千人の留学生受入、20名以下の少数授業を現在4割から5割に増加させる。

②東京オリンピックに向けた記念会堂の改築と募金依頼③今回オリンピック代表8名 ④トップアスリート奨学金(野球部大竹、小島) ⑤改装した「森の風」の利用についての話があった。

安次峰会長を議長に選出し、議事では、①平成27年度事業報告、②平成27年度収支決算報告、③平成27年度収支決算監査報告があり、スポーツ関係部への寄付の理由及び寄付の実績について質問があったが、それぞれ承認可決され、次に、④平成28年度事業計画、⑤平成28年度収支計画、⑥規約改正の議案もそれぞれ承認可決された。

高橋哲男記

＜第2部＞文化講演会「ラグビーの魅力」 今泉 清 氏

4月17日(日)東久留米稲門会の総会に引き続き、15:15分より早稲田大学ラグビー部で1年よりレギュラーとして活躍、大学選手権2度優勝、2度準優勝の輝かしい実績を誇る今泉氏の講演が行われた。氏は卒業後ニュージーランドにラグビー留学、全日本代表としてワールドカップに出場する等、順調にラグビー人生を歩んできた。

講演会の冒頭、氏は120kgになった自分の巨体を相撲取りとよく間違えられると話した後、氏の学生時代、伝説となった対明治大学戦の独走逆転トライ等をDVDで見せ、このDVDの勇士と現状の私の姿は、ビフォー・アフターだと紹介し会場をなごませた。

ラグビーブームとなった昨年のワールドカップ対南アフリカ戦の奇跡の逆転劇を取り上げ、この勝利は決して奇跡ではなく、必然であることを熱く、ユーモアを交え解説した。全日本の監督エディ・ジョーンズはワールドカップの初戦が9月17日対南アフリカ戦に決まった時から、日本の選手に南アに勝つ目標を提示、勝つ意識を刷り込むとともに、勝つ為に1日5回の猛練習を課し、日本選手の弱みを徹底的に鍛えた。又、練習で体格に勝る南アフリカの選手の3倍の動きをすることを求めた。試合会場となるイングランドの地域の9月の天気情報を集め、南アのチーム選

講師 今泉清氏



手の特徴分析や、ワールドカップの審判の特徴を分析する等、勝つための準備を徹底的に行った。

選手は最初南アに勝てるなど思ってもいなかったが、ハードな練習や、勝つ為の情報が入り、エディの絶対勝つとの意識づけに、ひょっとして勝てるのではないか、いや勝てると思いが変わってきた。(日本は過去のワールドカップでは1勝しかしていない)そして、選手が勝つ気で臨んだ2015年ワールドカップ初戦の南ア戦、最後の最後に3点負けていた全日本は同点のペナルティゴールのチャンスが来た。監督は同点ゴールを狙うよう指示を出したが、キャプテンのリーチ・マイケルを始め全選手は勝つ為に逆転のトライをとることを選択、敢然とスクラムを組み、終了間際に逆転のトライを取った。

この勝利を奇跡と全世界のマスコミは報じたが、選手にとっては全員が勝つための意思統一ができており、勝つことは必然であり、当然の結果であった。試合で勝つことを目標に、監督以下選手全員が、基本の練習を徹底して行い自らの弱みを克服し、全員の意思統一ができ、勝つ為の分析がなされれば勝つことは必然となる。早稲田が帝京大学に勝てない理由は監督以下選手の勝つ意識の差に違いない。などラグビー界の裏側情報を交えラグビーを熱く語った。早稲田ラグビーは今年こそ正月を越して少なくとも大学4強に入ることを期待したい。

講演後、今泉氏の著作本を販売し、用意した50冊が完売しました。今泉氏は東久留米稲門会の温かい先輩の方々に心より感謝をしていました。皆様のご協力ありがとうございました。 小野泰右記

22回定時総会



今泉講師と、当会の渡辺副会長



安宅初代会長による乾杯

その後、おおいに飲み且つ食べるうちに予定の時間となり、帆角第三代会長の締めめの挨拶があって、大矢幹事のリードと大島さんのハーモニカ伴奏による校歌斉唱をしてお開きとなった。 別処尚志記

<第3部>懇親会

16時50分村上幹事の司会により開始。当間東村山稲門会会長、大野東久留米三田会会長の来賓祝辞があり、安宅初代会長の含蓄に富んだ乾杯発声へと続く。さあ、懇親会のはじまりです。司会の村上幹事より、日本酒、焼酎、ウイスキーの寄贈者の紹介とお礼の後、新入会者の報告がある中で話の輪がいくつも出来、酒が進んで話しもはずむ。しばらくすると、渡辺副会長から部会活動活性化の取り組みとして、この程始まった、IRS(いろいろスポーツ)の紹介が始まる。氏いわくキャッチボールを手始めに卓球、バドミントン、アーチェリーなど楽しく取り組みたい、是非参加して頂きたい、とのこと。

恒例の校歌斉唱



平成27年度決算／平成28年度予算(概要)

平成27年度収支決算 および 平成28年度収支計画が下記のとおり総会において承認されました。

平成27年度 東久留米稲門会収支決算書

平成28年度 東久留米稲門会収支計画

項 目	27 年 度			28 年 度			摘 要
	27年度 予算①	27年度 決算②	予算-実績 (+は余剰) (-は不足)	28年度 予算③	27年度 対予算 (増・減)	27年度 対実績 (増・減)	
年 会 費	480,000	477,000	-3,000	480,000	0	3,000	会員160名を見込
組織強化補助金	250,000	249,000	-1,000	249,000	-1,000	0	前実ベース
雑 収 入	10,000	53	-9,947	10,000	0	9,947	祝儀
そ の 他 収 入	0	12,054	12,054	0	0	-12,054	(イベント余剰金見込まず)
(収入計)	740,000	738,107	-1,893	739,000	-1,000	893	
前年度繰越金	567,353	567,353	0	332,148	-235,205	-235,205	
(合 計)	1,307,353	1,305,460	-1,893	1,071,148	-236,205	-234,312	

〔支出の部〕

(単位 円)

項 目	27 年 度			28 年 度			摘 要
	27年度 予算①	27年度 決算②	予算-実績 (+は超過) (-は余剰)	28年度 予算③	27年度 対予算 増・減	27年度 対実績 増・減	
総 会 費	100,000	74,900	-25,100	80,000	-20,000	5,100	講演料5万、会場費2万他
通 信 費	30,000	37,309	7,309	70,000	40,000	32,691	前実+HP維持費3万
印 刷 費	70,000	23,815	-46,185	30,000	-40,000	6,185	(計上科目変更)
消 耗 品 費	20,000	69,217	49,217	60,000	40,000	-9,217	(" ")
近 隣 稲 門 会 校 友 会 交 流 費	100,000	50,000	-50,000	70,000	-30,000	20,000	
交 通 費	40,000	26,000	-14,000	30,000	-10,000	4,000	前実ベース(市外の役務)
部 会 補 助 金	90,000	90,000	0	90,000	0	0	前実ベース(9部会)
イ ベ ン ト 補 助 金	80,000	40,486	-39,514	70,000	-10,000	29,514	イベント会場費4.5万
寄 付 金	80,000	69,440	-10,560	90,000	10,000	20,560	前実+早稲田祭1万
会 議 費	0	6,750	6,750	10,000	10,000	3,250	賞室料
雑 費	40,000	19,275	-20,725	20,000	-20,000	725	前実(送金費など)
弔 慰 金	0	73,000	73,000	0	0	-73,000	
予 備 費	450,000	393,120	-56,880	150,000	-300,000	-243,120	会員募集、弔慰金
(支出計)	1,100,000	973,312	-126,688	770,000	-330,000	-203,312	
次年度繰越金	207,353	332,148	124,795	301,148	93,795	-31,000	
(合 計)	1,307,353	1,305,460	-1,893	1,071,148	-236,205	-234,312	

注記: 次年度繰越金と現預金残高, 前受金等の関連説明

	予算額	決算額	
現 金	—	0	
預 金	—	563,148	3月31日残高
(小 計)	—	563,148	
未払金	—	0	
前受金	—	231,000	28年度会費
(小 計)	—	231,000	
次年度繰越金		332,148	

(監査報告)

東久留米稲門会規約 第7条の規定に基づき、平成27年度の決算書類について監査の結果適正なることを認めます。

平成28年4月3日

東久留米稲門会 会計監事 東海 俊 孝 ㊟
会計監事 吉川 明 美 ㊟

会の告知板

【部会予定】

5月13日(金)	I・R・S (いろいろスポーツ部会) 第3回卓球	10:00	東久留米スポーツセンター
5月15日(日)~16日(月)	旅行同好会「西伊豆を巡るバスの旅」	07:15	東久留米市役所前
5月24日(火)	ウォーキング部会「皇居周遊」	09:40	東久留米駅改札口
5月26日(木)	映画鑑賞会「愛情物語」	14:00	成美教育文化会館
5月29日(日)	野球早慶戦観戦	10:30	東久留米駅改札口
6月5日(日)	2016年度第1回役員会	16:00	生涯学習センター
6月6日(月)	ゴルフ部会「三田会定期戦」		

<各部会定例活動一覧>

部会	5月				6月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	18	水	10:30~	中央町地区センター	15	水	10:30~	中央町地区センター
囲碁	22	日	13:00~	成美教育文化会館	26	日	13:00~	成美教育文化会館
俳句	15	日	13:00~	生涯学習センター	19	日	13:00~	中央町地区センター
書道	8	日	13:00~	生涯学習センター	12	日	13:00~	スペース105
太極拳	7	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	4	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	14	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	11	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	21	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	18	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	28	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	25	土	10:00~12:00	成美教育文化会館

【大学・校友会関係】

6月12日(日)	西東京稲門会総会	13:30	東伏見キャンパス
6月25日(土)	校友会代議員会	16:00	大隈講堂
7月2日(土)	早稲田大学商議員会	14:00	大隈講堂

会の報告

◎ 3月5日(土) 校友会幹事長事務局長会議 高橋事務局長出席
 校友会代議員会 別処副会長、高橋事務局長、小山田事務局次長出席
 組織強化補助金の継続あり(当会 249,000 円)、記念会堂への寄付についての依頼(当会としては、本年度は寄付せず、会員に依頼)、大隈記念館ふるさと応援寄付金についての協力要請、総長より、QS 機関での格付で早稲田大学が日本で1位、世界で33位 との報告があった。

◎役員会報告 平成28年度臨時役員会が4月3日(日)16:00~生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

- 第22回定時総会について(成美教育文化会館、ギャラリー・大研修室)
 - 定時総会4月17日(日) 14:00~15:00 司会:別処副会長 議長:安次峰会長 市長は欠席

- (2)文化講演会 15:15～16:30 司会:小牧幹事 講師:今泉 清氏 講演名:「ラクビーの魅力とは」
 (3)懇親会 16:45～18:30 司会:村上幹事 来賓挨拶は、小平稲門会会長、東久留米三田会会長
 (4)定時総会などの準備 ①総会資料印刷及び袋詰作業 4月9日(土)16:00～17:00 ②役割分担
 ③当日集合時間 13時(可能な人は12時30分)

2. 幹事長・事務局長会議・代議員会の報告

3. その他 ・会計処理規則一部変更について、・会員募集状況について 27年度6名ご逝去、3名退会、4名入会、再度5月にポストマンで会員募集、・東稲ニュースの編集案、原稿執筆の依頼、次回役員会：6月5日(日)生涯学習センター

部会報告

<女性サークル> 3月16日(水)「磯久」ランチ会

3月16日(水)に女性サークル「ランチ会」が開催され、今年度の部会長を石寺美弥子さんとすることが承認されました。また、「古事記を読む会」を月1回行うほか、9月には築地本願寺から築地市場に行き、美味しいお寿司を食べ、11月には殿ヶ谷戸庭園に行くことを決めました。 片平るみ記



↑女性サークル 磯久でのランチ会
 ←散策・山歩き 龍泉寺にて記念撮影

＜散策・山歩き部会＞ 大船観音と鎌倉の道ハイキング 3月27日(日)

前日の天気予報では早朝は雨、その後曇りのち雨とのことで迷ったが、多少の雨なら決行しようと悲壮な思いで駅改札口へ向かう。意に反してやや空も明るくなって来る。男性6名、女性2名の計8名が集合。9時11分発で池袋まで。湘南新宿ライン逗子行きに乗り換え、10時50分目的地「大船」到着。天気もよくなり到着したときは快晴となった。

大船観音の立派で大きな胸像にお参り。その後「龍泉寺」の庭園で昼食をとり「玉縄城」のゆかりの地をめぐる後、「フラワーセンター」へ。花々を鑑賞したあと、一路東久留米まで。徒歩1万5千歩。
安次峰暁記

＜ウォーキング部会＞

第53回「桜のトンネル(多摩湖自転車道路)を歩き小金井公園で花見」 4月1日(金)



満開の桜の前で記念撮影



小金井公園で花見の宴

4月1日天気は曇り、9時15分に東久留米駅改札口に集まったのは13名、途中久米川駅で2名、八坂駅付近で1名加わり参加者は計16名(男性10名、女性6名)となりました。久米川駅からは鯉が悠々と泳ぐ野火止用水に沿って10分程行くと八坂駅付近で多摩湖自転車道路へとでました。

ここで、多摩湖自転車道路について一言。村山貯水池(多摩湖)から東村山浄水場と境浄水場を経て和田堀給水所に至る水道道路のうち上流部分に該当します。自転車道路と云うだけあつ

て、道幅は4M程で舗装され自転車通行部分と歩道に区分されています。「桜のトンネル」という標題なので、さぞかしと期待しましたが、途中の萩山駅までは、ソメイヨシノはまばらで開花の遅い山桜も多く、やや期待はずれでありました。自転車道路の脇にはいたる所に小規模ながら公園が整備されて随時

休憩出来、楽なウォーキングでありました。小平駅を過ぎるとまさに「満開の桜並木」となり、多くの人が花見しながら歩くので、人や自転車とぶつかりそうになることも。

花小金井駅近くのコンビニで酒類を調達、花見会場である小金井公園へ更に自転車道路を進みます。しばらく行くと小金井公園の案内板があり、そこを右折し、小金井カントリークラブを右に公園を左にみながら進むと小金井公園のほぼ中央部に到着、さらに江戸東京建物園の前を過ぎて花見の場所へ到着。

花見は途中で充分堪能した？ので早速花より団子を開始、曇天と少々の風で、やや寒かったのでビールは早々に終えて、焼酎のお湯割りをグイグイと。1時間程花見（団子）を堪能してお開きとなりました。公園の西口からバスに乗り東久留米へ、途中下車の人もあって流れ解散となり10人ほど東久留米駅前で打ち上げを行い、ウォーキングを終了しました。

別処尚志記

＜太極拳の集い＞ 野外稽古 4月2日(土)

恒例の野外稽古を4月2日(土)、県営狭山稲荷山公園で行いました。やや寒い花曇りではありましたが、丁度満開の時期で、公園では「桜まつり」が行われていました。今年は参加者が14名でいつもの年より寂しい稽古になりましたが、桜を愛でながら、皆元気に太極拳を楽しんだ後は「京樽」の弁当と各自持ち寄った手料理、それに飲み物などに舌鼓を打ちました。春の野外稽古を稲荷山公園で行うのが、定着してきました。



満開の桜の下で広々と野外稽古

稽古は土曜日午前中、成美教育文化会館で行っています。稽古の内容は、楊名時の健康太極拳と中国の簡化24式太極拳です。太極拳に興味をお持ちの方は、是非一度見学においでください。入会は随時受け付けています。

鮎貝盛和記

太極拳の集い 野外稽古参加の14名



<俳句部会>

3月20(日) 第188回句会 於：生涯学習センター
兼題：「木の芽」、「啓蟄」

ものさしに妻の旧姓春灯下	神田尚計
それぞれの形に尖る木の芽かな	三田畔巢
考へる人を包んで木の芽風	片平るみ
啓蟄や一万歩への第一歩	河村洋子
木の芽風物干台の華やげる	杉本達夫
様々な門出のかたち木の芽晴	河村洋子
啓蟄やお天道様に投げキッス	片平るみ
啓蟄や固きワインの栓を抜く	神田尚計
木の芽吹く秩父路辿り結願す	藤田貞夫
啓蟄の覚めて眩しき地虫かな	安宅武一

4月24(日) 第189回句会 於：生涯学習センター
兼題：「仏生会」、「木蓮」

道問えば白木蓮を目じるしと	三田畔巢
本日はお日柄もよく仏生会	本間信一
落花舞ふ門に戌辰の弾の痕	神田尚計
墓地売りの相談聞こえ仏生会	松田博雄
木蓮の花一輪の重さかな	杉本達夫
仏生会オアシスの国平和なれ	杉本達夫
門跡の尼僧のころも紫木蓮	河村洋子
子等群れて甘茶ではしゃぐ灌仏会	川俣栄一
信仰の許されし島春の潮	河村洋子
三点句以上	片平るみ記

<I・R・S (いろいろスポーツ) 部会> 第2回「キャッチボール」 4月26日(火)

東久留米稲門会の第22回総会にてお知らせしました、I・R・S (いろいろスポーツの略) の第2回活動を4月26日に不動橋球場にて行いました。天気は快晴、颯爽と7人のメンバーがグラウンドに飛び出しました。安次峰、帆角、大島、別処、小山田、片平るみ、渡辺の諸氏です。念入りの準備運動、ランニング、ダッシュを繰り返し、キャッチボール、トスバッティングのメニューでした。練習後、安次峰会長差し入れの缶ビールで喉を潤しました。うっまい!!

その後場所を付近の東久留米スポーツセンターに移して軽食をとりながら、次回の打ち合わせ。次回は下記のとおりです。終了後同センターにて軽食・懇親予定。

- 1、日時：5月13日(金) 午前10時～12時 (雨天決行)
- 2、場所：東久留米スポーツセンター 1階ロビー集合
- 3、種目：卓球
- 4、準備：体育館履き (上履きです。)
- 5、費用：200円
- 6、費用軽減登録：市在住の60歳以上の人は、センター利用費用が軽減されます。
その登録に住所、年齢を証明するものがが必要です (運転免許証など)
- 7、道具：卓球用具 (ない方は無料で借りられます)

※ コーチを募集しています。 教えてくれる方大歓迎。 初心者ばかりのようです。
参加ご希望の方は渡辺 (042-478-6023) までご一報下さい。



第2回I・R・Sに集合した7名



渡辺真司記

部会だより

<ウォーキング部会> 5月24日(火) ウォーキング(第54回)「皇居周遊」

日時：5月24日(火) *雨天の場合：5月30日(月)に延期

集合：9:40 a.m. 東久留米駅改札口 *事前申し込み不要

◎途中コンビニ等はないので、昼食の事前手当が必要です。

歩行距離：8km程度(疲れた方は、途中の最寄り駅でリタイア出来ます)

行程：九段下駅から千鳥ヶ淵を下り、皇居の西半周を歩き、大手門から皇居東御苑に入り、北の丸公園を経て、九段下駅に戻る。☆東京国立近代美術館、科学技術館：希望者は途中解散して訪問。

費用：参加費100円(値下げ)、交通費(電車432円×2=864円)と飲食代は自己負担

連絡先：東海俊孝 電話473-8566 e-mail toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

別処尚志 電話475-1710 e-mail t_bessyo@jcom.zaq.ne.jp

<秋の予定：9月20日(火)(高麗神社、巾着田を巡るハイキング：8.5km) ★山歩きの会と合同>

↑彼岸花が壮観



<映画鑑賞会> 5月26日(木) 午後2:00~

於：成美教育文化会館

『愛情物語』 1956年アメリカ映画

この鑑賞会も東久留米市民と共にをモットーに、12年間50作品を越し提供してきました。特に成美教育文化会館を使用することから、一流映画館並に環境と設備が整い、毎回300名前後の観客を動員し定着してまいりました。観客は中高年層が中心で、男女比率は女性7、男性3、位でしょうか。

最近の名作ですが制作年度が古く、難解な作品が多く、若干客足が落ちましたので、今回は判り易い女性向きの音楽映画を選びました。

1930年~40年代にかけて甘美な演奏で人気を集めたピアニスト兼バンド・リーダー、エディ・デュエチンの生涯を描く音楽映画。主題曲「トゥ・ラブ・アゲイン」などの名曲の数々(演奏はカーメン・キャバレロ)挿入。美男スターから演技派へ変身した晩年のタイロン・パワーの代表作。

監督：ジョージ・シドニー 主演：タイロン・パワー / キム・ノバク 上映時間：117分

米光 慶二郎記

<野球早慶戦観戦部会> 5月29日(日) 第2戦

三連覇のかかる今季、そろって応援に神宮まで行きましょう！ 今回も第2戦の応援に行きます。

◎日時：5月29日(日) 10:30 東久留米駅改札口集合

◎費用：入場料+交通費+昼食代(お弁当)+飲み物

※参加希望者は、高橋事務局長まで連絡を TEL042-474-2366

(詳細は同封のチラシ参照)



東稲広報室

<新入会員> 下記4名の方が入会してくださいました。ご紹介します。(敬称略)

前川 初子(H17 文)、池永 滋子(52 教育)、黒田 和男(60 社会学)、石間 満(H10 理工)

現在会員数160名となりました。(昨年度退会者3名、物故者6名)

<ポストマン担当者の変更>

①南沢4丁目：長東輝夫幹事→片平るみ幹事 ②滝山4・5・7丁目：宮井威会員→上田敦嗣会員

<会員名簿の非表示希望について>

会員名簿を7月に発行しますので住所、電話番号、卒業年度・学部の非表示を希望する会員は、事務局(TEL&FAX:042-474-2366、e-mail:bente-takahashi@jcom.ne.jp) 高橋宛6月10日(金)までにご連絡を。

<年会費納入のお願い>

平成28年度会費@3,000円の納入期限は5月末日です。未納の方は、宜しく納入お願いします。

「人間力が発揮できる魔法の言葉」

長束輝夫（50年 政経）

◆今泉清氏の講演から得たヒント

先般、4月17日の当会年次総会での早稲田大学ラグビー部OB、今泉清氏の文化講演会、『ラグビーの魅力』（副題：ワールドカップで3勝した理由、早稲田が勝てない理由）はラグビーの話題に留まらず、組織が強くなるためには何が必要かを、今泉氏の輝けるラグビー人生を通じての体験と自身の勉学から得たコーチング理論を普遍化した説得力の高い内容で、それを漫談風にユーモア豊かに説明された感銘深い講話でした。

要諦はこういうことだったと思います。

「指導者は高いゴールを示す⇒先ず現状把握⇒そこから逆算しチームメンバーにやるべき事を時間軸で示し愚鈍なまでに徹底してやり抜く。そこではメンバー間での徹底した話し合い、意思疎通、相互理解が大事⇒その先にこそ輝かしい結果が待っている。」（GROW理論）

◆先ずは、チーム力の強化には個人の人間力の成長が基盤だ

ごく当たり前のことです。これにリーダーのマネジメント力が加味されれば組織力はアップします。私自身も、いかにチーム力を高めていくかとの課題を、児童会、生徒会、バスケット部活（高校時代は全国大会連続出場、主将時にベスト16）、40年間超の社会人生活を通じて今もなお持ち続けてきています。現在のリゾートホテルの事業再生に携わる10年間の勤務で尚一層、その感を強くしてきました。個人の人間力の成長の総和が現場力ではないか、それはラグビーのワールドカップ、対南アフリカ戦での最後のチャンスで、同点狙いのペナルティキックではなく勝ちに行くトライをエディジャパンの選手たち自身が現場(グラウンド)で話し合い選択し、エディヘッドコーチを超えて歴史的勝利を手にしたことが証明してくれたと思います。

◆人間力が安定して成長し、また、心安らかに過ごせる「魔法の言葉」

読者は、「子どもが育つ魔法の言葉」という本をご存知でしょうか？ 以下は著者トロン・ロー・ノルの "Children Learn What They Live" 中の枢要部分の和訳です。長くなりますが引用します。

この文章の中にこそ、私はスポーツの世界であれ、企業であれ、学校であれ、介護の現場であれ、人生の様々な諸相において、人が精神的に安定した状態を保ちながら成長し、幸せに生きる原動力を見出せるのではないかということ、事業再生の現場での実経験において、また、ここ東久留米において親の介護と死という体験を通して、確信を持つに至った「魔法の言葉」であり「宝の言葉」です。

◆以下のように、文章の中の単語を置き換えてみませんか？

新たな視点が開ける普遍的な文章に思えてくるのではないのでしょうか？

- ・「親」、「家庭」 → 学校、 介護施設、会社、経営者、上司、.....
- ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
- ・「子ども」 → 児童・生徒、利用者、社員、従業員、部下、.....

けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる

親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう



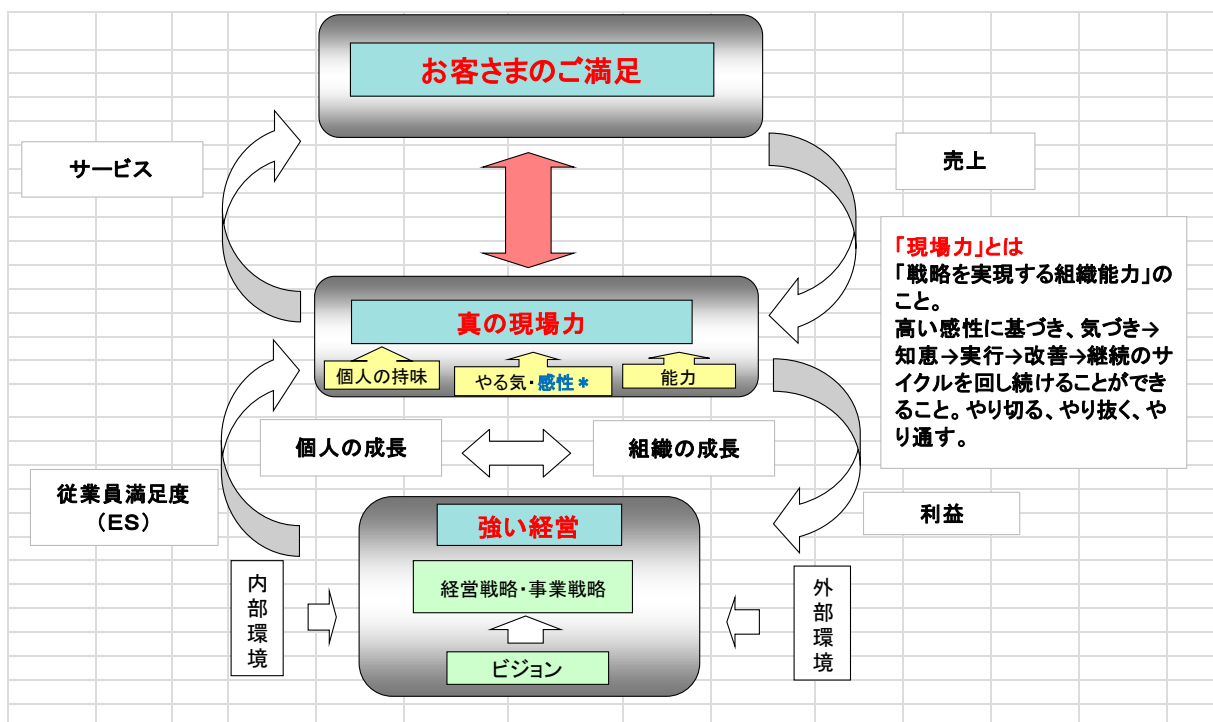
励ましてあげれば、子どもは自信を持つようになる
 広い心で接すれば、子どもはキレる子にはならない
 誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ
 認めてあげれば、子どもは自分が好きになる
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは正義感のある子に育つ
 やさしく思いやりをもって育てれば、子どもはやさしい子に育つ
 守ってあげれば、子どもは強い子に育つ
 和気あいあいとした家庭で育てば、子どもはこの世の中はいいところだと思えるようになる



紙幅の都合で次号にて、教育問題（特に、いじめ問題）、老年問題（特に、介護の現場）、企業経営（特に、最近重視されてきている現場力）についての改善策を考えてみたいと思います。

ちなみに企業における個人と組織との関係については、私が作成した下記の図を基に記させていただきたいと思っています。

<強い経営と真の現場力> 両者が相まってこそ業績の改善・維持・成長が実現できる



*「現場力」すなわち「オペレーション」については、遠藤功氏（早稲田大学ビジネススクール教授・ローランド・ベルガーの日本法人会長）が重要性と意義を喚起。著書・文献多数。

<編集後記>

今年の5月5日は24節気の立夏。立夏の初候は、蛙初めて鳴く、だそう。川や池、田んぼで蛙が鳴き始めるころ。大昔（といっても筆者の幼少のころ）池や小川のそばを歩くと何か水面へ、ぴよんと飛び、小さな蛙がいたことに気付かされました。さて発足したばかりの小さな蛙（IRS：いろいろスポーツ）を大きく育てるため、楽しいアイデアを待っています。